

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学12							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	2年	2期	川崎 有子	○			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
臨床現場では比較的多く遭遇する疾患である。股関節・大腿部周囲の軟部組織損傷や大腿部骨幹部骨折における、病態把握、診断方法、治療法を体系的に学習する。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として股関節・大腿部周囲の軟部組織損傷や大腿部骨幹部骨折を正しく評価・治療ができるようになるために、判断・治療・予後評価に必要な基礎的知識を習得する。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 股関節・大腿部周囲の軟部組織損傷や大腿部骨幹部骨折の発生機序を暗記し列挙できる。 2. 股関節・大腿部周囲の軟部組織損傷や大腿部骨幹部骨折の症状、所見を暗記し列挙することができる。 3. 股関節・大腿部周囲の軟部組織損傷や大腿部骨幹部骨折の治療、予後を理解して暗記し列挙することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
1年次に学んだ解剖学の股関節・大腿骨・筋肉の構造機能の復習は必ず行って受講すること。							
教科書・参考書							
教科書:「柔道整復理論・総論 改訂第6版」 参考書:「柔道整復学・実技編 改訂第2版」							
受講上の注意							
解剖学の骨・筋・靭帯・関節構造の予習復習は必須。 基本は暗記となるので、短期記憶から中期記憶、中期記憶から長期記憶となるよう、復習を充分に行うこと。 単元ごとに確認小テストを行います。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90	10					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	鼠径部痛症候群・股関節唇損傷・弾発股 発生概要・症状・所見・治療法について理解をし暗記する。			P370-P372	教科書・筆記用具		
第2回	梨状筋症候群・股関節拘縮(外転位・内転位・屈曲位拘縮) 発生概要・症状・所見・治療法について理解をし暗記する。 鼠径部痛症候群・股関節唇損傷・弾発股の確認小テスト			P372-P373	教科書・筆記用具		
第3回	乳幼児にみられる疾患1 (発育性股関節形成不全、化膿性股関節炎、ペルテス病) 発生概要・症状・所見・治療法について理解し暗記する。 梨状筋症候群・股関節拘縮の確認小テスト			P374	教科書・筆記用具		
第4回	乳幼児にみられる疾患2(単純性股関節炎) 思春期にみられる疾患(大腿骨頭すべり症) 発生概要・症状・所見・治療法について理解し暗記する。 乳児期にみられる疾患1の確認小テスト			P374	教科書・筆記用具		
第5回	大腿骨頭壊死症・変形性股関節症 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 乳幼児にみられる疾患2・思春期にみられる疾患の確認小テスト			P374-P376	教科書・筆記用具		
第6回	大腿骨骨幹部骨折 発生機序・症状・骨片転位・整復法・固定法・治療法について理解をし暗記する。 大腿骨頭すべり症・大腿骨頭壊死症・変形性股関節症の確認小テスト			P377-P380	教科書・筆記用具		
第7回	大腿骨骨幹部骨折 発生機序・症状・骨片転位・整復法・固定法・治療法について理解をし暗記する。			P377-P380	教科書・筆記用具		
第8回	大腿部打撲・大腿四頭筋肉離れ 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 大腿骨骨幹部骨折の確認小テスト			P380-P382	教科書・筆記用具		
第9回	ハムストリングスの肉離れ・大腿部骨化性筋炎 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 大腿部打撲・大腿四頭筋肉離れの確認小テスト			P382-P383	教科書・筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具 学生証		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院、整形外科、介護施設で勤務、現在までの臨床経験を踏まえ臨床で重要な知識を講義していく。							
メールアドレス							
kawasaki@nihonisen.ac.jp							